

## 平成28年度 第4回 未来創造セミナー実績報告

平成28年10月25日

草津市総合政策部草津未来研究所  
アーバンデザインセンターびわこ・くさつ

### 1. たぶんカフェ@UDCBK!の目的

未来の草津市は大学や大企業の工場が立地することから、外国にルーツを持つ学生や労働者、そして、その家族が暮らすまちになる。

未来の草津市のアーバンデザインを考える上で、外国にルーツを持つ人々の視点を取り込むことは非常に重要となる。

そこで、UDCBKに、外国にルーツを持ち、草津に暮らし、学び、働く人々が気軽に自由に訪れるよう、「たぶんカフェ@UDCBK!」(多文化とカフェを掛け合わせて命名)をシリーズで実施する。

3回シリーズとして、各回、同じ環境の日本人との交流を通じ、お互いを知り合い、それぞれの課題を知り合うことによって、草津のアーバンデザインを一緒に考える対話のきっかけづくりを行う。

なお、本プログラムは草津市国際交流協会(KIFA)と協働で実施する。

### 2. 未来創造セミナー

平成27年度の未来創造セミナーの試行結果、および草津市大学地域連携強化プラン懇話会における議論等を踏まえ、アーバンデザインセンター事業として実施する平成28年度の未来創造セミナーについては主に次の二つの目的で実施することとしました。

	機能	内容	回数
未来創造セミナー	交流	多様な人々の交流を目的に草津の歴史や草津に住む人々のライフストーリー等を語ってもらう場	4~6
	連携	産学公民連携により、草津の未来のイメージを具現化するアイデアを纏め、社会実験等に接続	4~6

### 3. 第4回 未来創造セミナー概要

#### (1) テーマ・目的等

- ① テーマ：「外国人ママと日本人ママ」
- ② 目的：外国人ママの子育てや家事、暮らしの経験を聞いて草津の未来のまちのデザインを一緒に考える。
- ③ 開催日：平成28年10月25日（火曜）午前10時から正午まで
- ④ 開催場所：市民交流プラザ 中会議室（フェリエ南草津5階）
- ⑤ アドバイザー：京都橘大学 看護学部  
工藤 里香氏  
常田 裕子氏

#### (2) 当日のスケジュール

たぶんカフェ(多文化×カフェ)@UDCBK

## たぶんカフェ@UDCBK の すすめかた

<p>10:10</p> <p>1. 自己紹介(全員)</p> <p>10:20</p> <p>2. 草津で暮らし、子どもを育てること 2グループに分かれて話し合う</p> <p>10:50</p> <p>3. 発表</p> <p>11:00</p> <p>4. 講評</p>	<p>11:10</p> <p>5. 未来の草津の子育て物語 3グループに分かれて話し合う</p> <p>11:40</p> <p>6. 発表</p> <p>11:55</p> <p>7. 講評</p>
--	---

#### 4. 第4回未来創造セミナー「たぶんカフェ」の内容について

##### (1) 草津で子どもを育てること

アドバイザーの工藤里香先生・常田裕子先生（京都橘大学）に司会進行していただき、「草津での暮らし、子育て」をテーマに、良いところ、悪いところ、悩みなど・・・2つのグループに分かれ、話し合っていました。



写真 1. 各グループで話し合いの様子

話し合った内容をふせんやカラーマーカーを使い模造紙にまとめていただきました。



写真2. 各グループのまとめ

各グループでまとめた内容をそれぞれ発表していただきました。



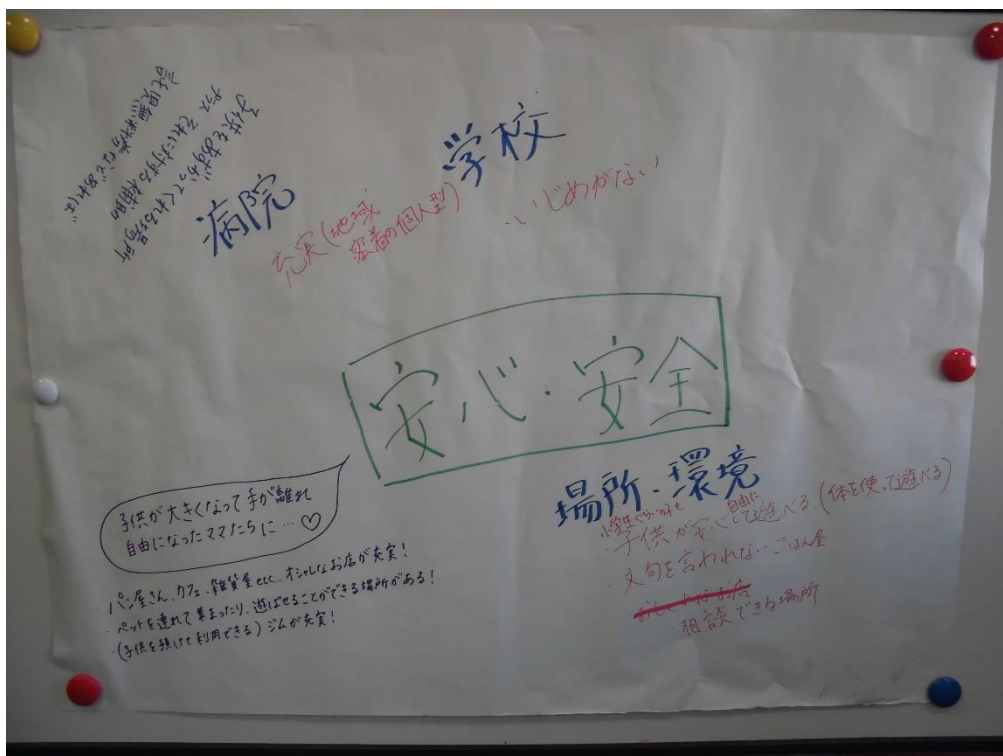
## (2) 未来の草津の子育て物語

3つのグループに分かれて、「未来の草津での暮らし、子育て」をテーマに物語を作っていました。



写真3. 各グループの話し合いの様子

### ひとつめのグループ



子どもがひとりでも安心して遊んだり、預けたりできる場所や環境が欲しい。学校もい

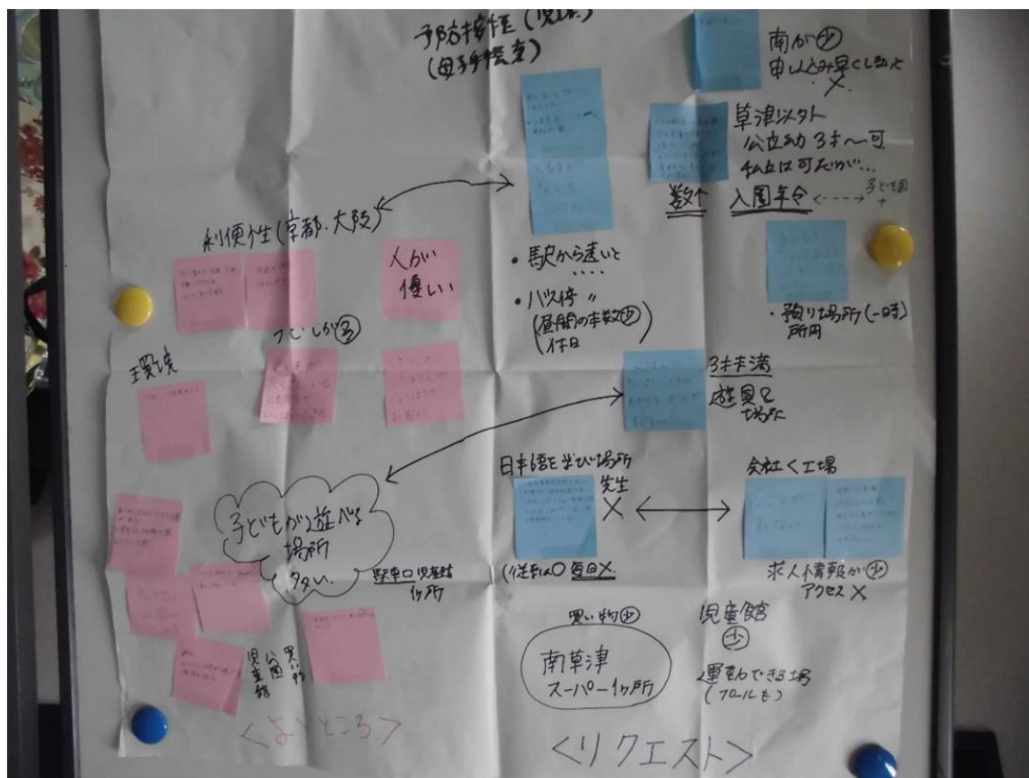
じめがなく、病気になったり、怪我しても安心できる病院が欲しい。また子どもを預けて、自分の好きなことやいろいろな社会活動をしていきたい。  
子どもたちのためには、お母さん自身が人生を楽しむべきとの意見がでました。

### ふたつめのグループ



子どもを預ける場所があり、自分の持つ特技や技術などを活かして仕事がしたい。また大きなスーパーの中にいろいろな国や地域の料理を食べられるような場所が欲しい。さらに日本語学校があり、日本語が話せるようになれば、さらに自分の持つ能力を活かすことができる。

## みつつめのグループ



草津は京都や大阪に行くには利便性が良いが、市内の交通、バスが不便。子どもが遊べる場所は多いが、プールがない。また子どもを預ける場所がない。働く場所が工場ばかりで会社（事務職）が少ない。そのためには、日本語を学ぶ場所が必要

### 先生方のコメント

専業主婦志向、就業志向と全く逆の意見がでたが、いずれも子育てに専念するのではなく、子どもを安心して預けられる場所があり、自らの能力をなんらかの形で社会に活かしたいというところは同じ。未就業、就業に限らず、子どもを安心して預けられる場所が必要なことを改めて認識した。

#### ➤ UDCBK としての成果

「たぶんカフェ」というタイトルでセミナーを実施しましたが、テーマを子育てとし、現在草津市に住む子育て中の母親としてルーツに関係なく、意見交換ができることがわかりました。

#### ➤ 今後の課題

参加対象を日本語が理解できる外国にルーツを持つ人と限定しましたが、参加した日本人の使う日本語が難しいため、日本人側のやさしい（正しい）日本語の普及が課題です。